

## 会社：平成27年度の収入計画は達成できる！ 組合：組合員の努力に対し、満額回答で誠意を見せよ！

### ～2015年度 第2回夏季手当交渉報告～

中央本部は本日9時30分より、夏季手当交渉（第2回）を行ない、現段階の収入動向について会社から説明を受けました。主な内容は以下の通りです。

#### 【鉄道事業部門】

- ①4月の収入動向は、積み合せ貨物ではトラックドライバーや通販需要の増送、また食料工業品やエコ関連物資の増送により対計画、対前年は上回った。しかし、5月に入り輸送量の伸びが弱くなっている。5月は20日時点の年間累計でコンテナは対計画98.6%、車扱は対計画108.5%、合計で99.4%であり、計画から△2.5億円である。
- ②収入全体としては一部の品目に落ち込みは見られるものの、今年度の滑り出しはおおむね順調であると考えているが、これまで収入を引き上げてきた紙パルプの低調が全体を押し下げており、気は抜けない。
- ③営業施策として増送や運賃修復などの施策を行い、さらにダイヤ改正の効果もある。その効果は数字に表れており、新規荷主の獲得も昨年度9億円の実績があがっている。モーダルシフトの流れはしばらく続くこともあり、引き続き新規開拓やこれまでの営業施策を着実に進めることによって今年度の計画は達成できると考えている。

#### 【関連事業部門】

- ①4月10日の幹部社員の逮捕について改めてお詫び申し上げる。現場で頑張っている社員に対する裏切り行為であることと、会社の信用を失墜させた行為であることは十分に認識している。最終的に管理責任は問われることとなるが、再発防止に全力をあげる。
- ②関連事業部門は新規開発案件の減少や開発可能用地の生み出しが困難になっており、特に鉄道補完・鉄道付帯部門においては非常に厳しい目標であるが、貨物駅に隣接した倉庫の買収などを検討し今年度の収入拡大につなげるよう努めていく。

#### 【中央本部の主張】

- ①営業施策も含め、会社のあらゆる施策は、職場の組合員が担うことによって実現される。これまで会社の様々な施策に対し組合員は協力していることを経営陣は改めて認識し、その努力に

応える前提の議論を行なうこと。

- ②鉄道事業部門及び関連事業部門の収入動向の説明を聞く限り、貨物労組の要求額に対する支払い能力は十分にあると認識できる。要求額2.6ヶ月の重みを認識し、平成26年度決算に対する還元と、今後のモチベーション向上に向けて、会社経営陣の誠意ある決断を求める。

【本社の回答】

- ①これまでの貨物労組の努力については会社として認識しており、改めて感謝申し上げたい。会社として社員のモチベーションを上げることは考えなければならないと認識している。
- ②しかし、動力費をはじめとする経費増加も見込まれており、収支で判断しなければならないと考えている。
- ③貨物労組が要求を上げたことも踏まえて、会社の考え方については、今後の交渉で明らかにしていく。

組合員の皆さん！職場で厳しい要員や老朽した輸転資材の中で奮闘した結果、収入状況は対前年を超えています。業績を上げている以上、会社は組合員の要求に満額で応えるべきです。

中央本部は、収入確保に向けて昼夜を問わず職場で努力した組合員に報いるため、夏季手当獲得交渉を推し進めていくこととし、第2回夏季手当交渉報告とします。

以上

次回、第3回交渉は、5月29日（金）です。